平成３１（2019）年度

滋賀医科大学　看護師特定行為研修

特定行為研修標準コース研修生募集要項

滋賀医科大学

平成３１（2019）年度　看護師特定行為研修　概要

１．滋賀医科大学の理念及び使命

（理念）　滋賀医科大学は、地域の特徴を生かしつつ、特色ある医学・看護学の教育・研究により、信頼される医療人を育成すること、さらに、世界に情報を発信する研究者を養成することにより、人類の健康、医療、福祉の向上と発展に貢献する。

（使命）　滋賀医科大学は、地域の特徴を生かしつつ、特色ある教育・研究により、信頼される医療人の育成及び世界に情報を発信する研究者を養成することを目的とし、もって人類の健康、医療、福祉の向上と発展に貢献することを使命とする。

２．沿革

わが国は、平成３７年（２０２５年）には６５歳以上の高齢者が４人に１人となり、超高齢社会を迎えました。より一層、高まる医療ニーズに対応し、今後の医療を支えていくためには、高度な臨床実践能力を有する看護職を計画的に育成していくことが求められています。

今般、「保健師助産師看護師法」の一部改正によって、平成２７年１０月より「特定行為研修」を修了した看護師が医師による手順書に従い特定行為を行うことが可能となりました。

本学では、今後の地域医療を支えていく特定行為ができる看護師を育成するために、特定行為研修に取り組むこととなりました。平成２８年２月１０日付で滋賀医科大学は、厚生労働省が指定する研修機関となりました。

３．滋賀医科大学における特定行為研修の教育理念

本学は、県下唯一の医科大学として、高度実践的看護臨床教育を通して地域医療の質向上に貢献することを目指します。また、特定行為を行う看護師としての社会的責任と役割を自覚し、新たな臨床看護の発展に寄与することのできる看護師を育成します。

【教育目標】

１）高度医療や地域医療の場において、特定行為に必要な臨床判断を、包括的にできる能力（知識、技術、態度）を養う。

２）特定行為を適切なタイミングに、倫理的、かつ安全に行える能力（知識、技術、態度）を養う。

３）チーム医療のアウトカムが最大となるよう、多職種の専門性を尊重し、協働による問題解決できる能力（知識、技術、態度）を養う。

４）医学的視点と看護学的視点を融合した新たな看護展開ができ、標準化する能力を養う。

４．研修の特色

各学会認定の指導医・専門医資格などを有する医師と特定看護師・専門看護師・認定看護師による講義、演習、実習を行います。より高度な知識や技術が習得できるよう、本学の医学部教育と融合して、より高度な実践を展開できる新しい看護師教育に取り組んでいます。例えば、共通科目は e-ラーニングをベースにして勤務と両立しやすくするとともに滋賀医科大学内外の教員による特色ある研修とを両立しています。さらに解剖見学実習や滋賀医科大学模擬患者の会の協力による医療面接や医学教育・高度救急処置シミュレーターを使用した実践さながらの実習を行い、医科大学として特徴のある看護師特定行為研修を実施しています。また、特定行為を実践するための基盤づくりや特定行為の指導者として必要な知識・技術・態度を学びます。

５．研修コース

「特定行為研修標準コース」

今回募集する「特定行為研修標準コース」には、「ベーシックコース」「麻酔・救急・集中治療領域コース」「創傷領域コース」「在宅領域コース」があります。

６．開講する特定行為区分

	特定行為区分	特定行為
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
		人工呼吸器からの離脱
3	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換
4	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
		創傷に対する陰圧閉鎖療法
5	創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去
6	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
		橈骨動脈ラインの確保
7	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
		脱水症状に対する輸液による補正
8	ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
		膀胱ろうカテーテルの交換
9	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整
10	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整

＊２０１９年度以降、「術後疼痛管理関連」を開講する予定です。

７．研修内容と時間数

共通科目	時間数（時間）
臨床病態生理学	５１
臨床推論	５１．５
フィジカルアセスメント	４６
臨床薬理学	４７
疾病・臨床病態概論	６４．５

医療安全学	３０．５
特定行為実践	４９
区分別科目	**時間数（時間）**
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	２７
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	６５．５
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	２９
創傷管理関連	８３．５
創部ドレーン管理関連	１６
動脈血液ガス分析関連	３０．５
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	４２．５
ろう孔管理関連	４８
循環動態に係る薬剤投与関連	６４．５
術後疼痛管理関連	２２

１コマ＝９０分授業

＊主に滋賀医科大学へのスクーリングによる講義、演習、実習を行います。

＊e-learning は、「全日病 SQUE e ラーニング看護師特定行為研修（以下、全日病 SQUEe ラーニング）」および本学で作成した e-learning 教材を使用します。（全日病 SQUEe ラーニングは学内外での閲覧を可能とします。）

なお、臨地実習は原則、所属する施設にて行います。

８．受講コース・定員

受講モデル	共通科目時間数	区分別科目　時間数			総時間	定員
ベーシックコース	339.5	必修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連　(42.5)	42.5	382	合計２０名程度
麻酔・救急・集中治療領域コース	339.5	必修	呼吸器（気道確保に係るもの）関連　(27)	92.5	432	
		必修	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連　(65.5)			
		選択	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連　(29)	29	必修とで461	
			動脈血液ガス分析関連（30.5）	30.5	必修とで462.5	
			栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連　(42.5)	42.5	必修とで474.5	
			循環動態に係る薬剤投与関連　(64.5)	64.5	必修とで496.5	
			術後疼痛管理関連　(22) ＊受講開始の翌年度４月からの受講となる	22	必修とで454	

創傷領域コース	339.5	必修	創傷管理関連　(83.5)	83.5	423	
		選択	創部ドレーン管理関連　(16)	16	必修とで439	
			栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連　(42.5)	42.5	必修とで465.5	
			ろう孔管理関連 (48)	48	必修とで471	
在宅領域コース	339.5	選択	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連　(29)	29	368.5	
			創傷管理関連　(83.5)	83.5	423	
			創部ドレーン管理関連　(16)	16	355.5	
			栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連　(42.5)	42.5	382	
			ろう孔管理関連 (48)	48	387.5	

＊各コースの定員については、最大２０名程度内において調整します。

＊既に履修した共通科目及び区分別科目については、それに関連する科目の受講を免除します。

９．研修期間

２０１９年４月～２０２０年３月　１年間（ただし、麻酔・救急・集中治療領域コースで「術後疼痛管理関連」を選択する方は、引き続き翌年前期に履修するため、１年半となります。）

前期：２０１９年４月～２０１９年９月

後期：２０１９年１０月～２０２０年３月

（講義時間：平日の８時５０分～１７時５０分）

１０．修了要件

修了要件は、共通科目、区分別科目を履修し、筆記試験、実技試験、実習などの観察評価などの科目毎の合格を条件とします。さらに、修了認定は、関係指導者と看護師特定行為研修センターで審議の上、特定行為研修管理委員会で行います。

１１．応募資格

１）　保健師、助産師及び看護師のいずれかの免許を有すること。

２）　保健師、助産師及び看護師の資格取得後、通算５年以上の実務経験を有すること。
そのうち通算３年以上は関連する領域の実務経験を有することが望ましい。

３）　原則、所属する機関の施設長及び所属長の推薦を有すること。

４）　学業優先で受講可能であること。

５）　今後、特定行為を行い、看護の発展と社会貢献に意欲があること。

６）　原則、所属施設での臨地実習を行うことができること。

１２．出願手続き

募集期間

平成３０年９月１９日（水）～１０月２２日（月）必着

１３．出願提出書類

１）　特定行為研修標準コース志願書（様式標準１）
２）　特定行為研修標準コース受講希望（様式標準１　別紙）
３）　特定行為研修標準コース履歴書（様式標準２）
４）　特定行為研修標準コース志願理由書（様式標準３）
５）　特定行為研修標準コース推薦書（所属がない場合は自薦可）（様式標準４－１）
６）　特定行為研修標準コース受講同意書（様式標準４－２）
７）　特定行為研修標準コース自施設情報（様式標準４－３）
８）　特定行為研修標準コース連絡先（様式標準５）
９）　看護師免許証の写し　１枚
１０）　専門看護師、認定看護師などの認定書、看護師特定行為研修修了書、大学院などの学位記の写しなど証明となるもの　１枚
１１）　特定行為研修受講審査料　１０，０００円

＊受講審査料　振り込み先：　銀行名　　滋賀銀行　瀬田駅前支店
口座名義　国立大学法人　滋賀医科大学
口座番号　普通　　００９９６８８

＊　提出された出願書類、受講審査料は返却いたしません。

１４．臨地実習の場所について

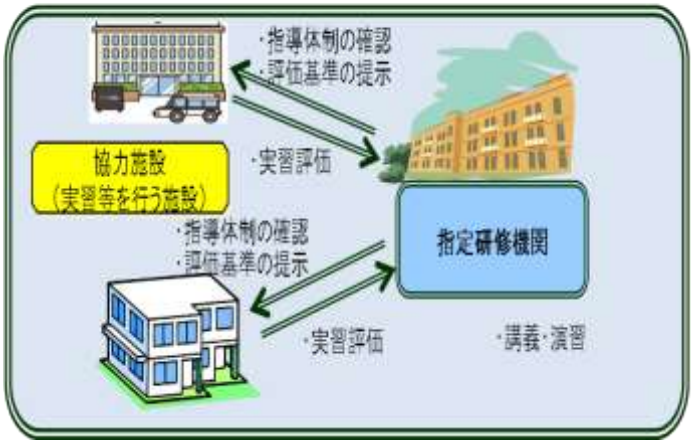
看護師特定行為研修では患者で行う実習（臨地実習）を行います。臨地実習は、原則、研修生の所属施設で行います。それには滋賀医科大学特定行為研修指定研修機関の協力施設として厚生労働省へ申請が必要となります。指導者の要件が満たない場合はご相談ください。

相談・お問い合わせ：滋賀医科大学医学部附属病院
看護師特定行為研修センター　Tel:077－548－3573

協力施設となるには、
１）所属施設の医療安全体制、指導者*を確保できること。
２）本学に出願提出書類が到着後、１）や実習症例数の状況確認のため、必要時に看護師特定行為研修センターより連絡を行う。
３）合格通知後、看護師特定行為研修センターより協力施設申請手続きについて案内する。

＊指導者とは、医師の指導者は、臨床研修指導医と同等以上の経験を有すること。看護師の指導者は、特定行為研修を修了した看護師やこれに準ずる者として専門看護師、認定看護師及び大学等での教授経験を有する看護師など。

〈指定研修機関以外で一部を講義、演習又は実習を実施する場合〉



出典：指定研修機関の指定の申請に係る手続き等について
厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室

１５．出願書類提出方法

郵送のみ。封筒に「特定行為研修　志願書在中」と「朱書き」で明記し、「簡易書留」にて下記まで郵送して下さい。

１６．出願書類送付先

送付先	〒520－2192　滋賀県大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学医学部附属病院　看護師特定行為研修センター Tel：077－548－3573

１７．選抜方法、日時、場所

選抜方法：書類審査および面接
日　　時：平成３０年１０月２９日（月）　１３時３０分（１３時集合）
場　　所：滋賀医科大学看護師特定行為研修センター（リップルテラス３階）
（集合場所：看護師特定行為研修センター）

１８．合否発表

平成３０年１１月５日（月）

合否の通知は、本人宛簡易書留にて郵送します。
電話、FAX、メールでのお問い合わせには対応しません。

１９．受講手続き

受講にあたり必要な書類は、合格通知書と一緒に送付します。

２０．研修費用

別紙をご参照ください。

＊受講料　振り込み先：銀行名　　滋賀銀行　瀬田駅前支店
口座名義　国立大学法人　滋賀医科大学
口座番号　普通　０００９９６８８

＊分割払い可
＊上記の他、書籍などが別途必要となります。
＊研修期間中において任意保険への加入を必須とします。

２１．本件に関するお問い合わせ

連絡先	〒520－2192　滋賀県大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学医学部附属病院　看護師特定行為研修センター 担当者：中井（看護師長） 小原（事務担当） Tel：077－548－3573 e-mail：tokutei@belle.shiga-med.ac.jp

別紙

看護師特定行為研修　受講料内訳

１．特定行為研修標準コース

受講 モデル	①金額	区分別科目		区分別科目受講料 ②金額	受講料　計 ①＋② （　③　）	合計 （③）×1.08
ベーシック コース	519,000円	必修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	65,000円	584,000円	630,720円
麻酔・救急 ・集中治療 領域コース	519,000円	必修	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	141,000円	660,000円	712,800円
			呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連			
		選択	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	44,000円		47,520円
		選択	動脈血液ガス分析関連	47,000円		50,760円
		選択	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	65,000円		70,200円
		選択	循環動態に係る薬剤投与関連	99,000円		106,920円
		選択	術後疼痛管理関連	34,000円		36,720円
創傷 領域コース	519,000円	必修	創傷管理関連	128,000円	647,000円	698,760円
		選択	創部ドレーン管理関連	24,000円		25,920円
		選択	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	65,000円		70,200円
		選択	ろう孔管理関連	73,000円		78,840円
在宅 領域コース	519,000円					560,520円
		選択	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	44,000円		47,520円
		選択	創傷管理関連	128,000円		138,240円
		選択	創部ドレーン管理関連	24,000円		25,920円
		選択	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	65,000円		70,200円
		選択	ろう孔管理関連	73,000円		78,840円